

## 総務委員会 基本方針（案）

総務委員会 委員長 高橋 佑輔

1 一般社団法人佐賀青年会議所は、時代の荒波とともに長きに亘る諸先輩の功績や信頼を  
2 もって今年65周年を迎え、今まさに次世代に向けた新たな一步を踏み出そうとしており  
3 ます。諸先輩が築き上げられた功績を温故知新の精神で学び、佐賀青年会議所がより良い  
4 社会の未来を見据え、メンバー同士が進むべき方向性を共有し、誠実に各所と有機的な連  
5 携を図りながら、地域に根差した活動、運動を行うことができる統制された組織基盤を形  
6 成することが必要です。

7 まずは、明るい豊かな社会の実現に向けた各委員会の円滑な事業運営をしっかりと補佐  
8 するため、総務委員会が佐賀青年会議所の根幹を担う委員会であることの責任と自覚を  
9 持つ同時に総務委員会としての職務運営方法を全員が習得することで、組織としての基盤  
10 となる委員会を目指します。そして、佐賀青年会議所の方向性を決定する最高意思決定機  
11 関である総会や、理事会を筆頭とする諸会議を円滑に運営するために、7・5・3システ  
12 ムの継承と委員会メンバー全員による議案精査を行い、佐賀青年会議所全体の効率的な会  
13 議運営を行います。さらに、次年度の佐賀青年会議所運営への引継ぎのために、総会及び  
14 理事会における会議内容の正確な議事作成及び年間を通した各種職務運営方法の体系化を  
15 行い、前任者暗黙知の「見える化」を図ります。また、会員数を拡大させるために、In  
16 s t a g r a m・HP・SNS等の時代に即したツールを活用した佐賀青年会議所として  
17 の活動目的や事業内容を分かりやすく発信することで、地域の皆様からの理解を得ると共  
18 に新たな仲間を呼び込みます。

19 我々佐賀青年会議所がこれまで以上に地域社会にとって信頼のおける不可欠な青年団体  
20 となるよう、熱い闘志を胸に抱き、組織の要である総務委員会が一丸となり基礎を貫く堅  
21 実な運営を通じて、現在（いま）を生き抜き次代へつないで参ります。

### [事業計画]

- 25 1. 諸会議の運営設営（通年）
- 26 2. 諸記録の整理（通年）
- 27 3. 広報活動、情報の発信（通年）
- 28 4. 総会の設営・運営（1月・8月・10月）
- 29 5. 京都会議参加者への支援（1月）
- 30 6. 献血活動の推進（4月）
- 31 7. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）